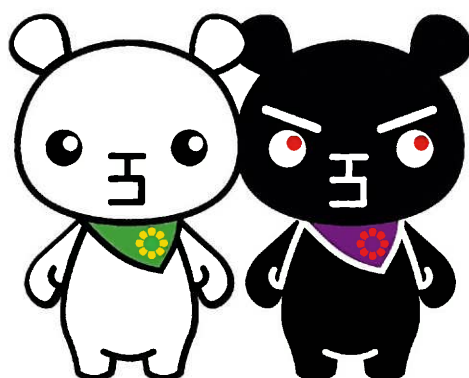


# 決算特別委員会資料

## I 令和2年度 一般会計決算（環境局所管分）について

1 歳入決算額	.....	2 P
2 歳出決算額	.....	3 P

II <b>参考</b> 主要施策の成果	.....	4 P
----------------------	-------	-----



環境局

# I 令和2年度 一般会計決算（環境局所管分）について

## 1 歳入決算額

(単位：円)

款	項	目	節	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
17	1	3	1 環境費負担金	1,800,000	0	0	0	0
18	1	4	1 環境使用料	2,031,000	3,909,574	3,909,574	0	0
	2	4	1 環境手数料	3,562,086,000	3,545,072,433	3,519,913,068	4,232,813	20,937,452
			環境総務手数料	20,107,000	10,609,000	10,609,000	0	0
			ごみ処理手数料	3,482,474,000	3,470,401,643	3,452,731,680	3,127,513	14,553,350
			し尿処理手数料	54,909,000	63,176,790	55,687,388	1,105,300	6,384,102
			申請・登録手数料 (自動車リサイクル法)	864,000	421,000	421,000	0	0
			汚染土壌処理業の 審査手数料	3,732,000	464,000	464,000	0	0
19	2	4	1 環境費補助金(国)	913,339,000	778,307,282	778,307,282	0	0
			2 環境職員費補助金(国)	0	120,000	120,000	0	0
	3	4	1 環境費委託金(国)	61,000,000	39,922,581	39,922,581	0	0
20	2	4	1 環境費補助金(県)	11,612,000	11,350,000	11,350,000	0	0
	3	4	1 環境費委託金(県)	391,000	423,000	423,000	0	0
21	1	1	1 土地貸付収入	21,562,000	21,752,110	21,752,110	0	0
			2 建物貸付収入	9,644,000	8,515,710	8,515,710	0	0
	3	1	1 基金運用収入	356,000	36,101	36,101	0	0
	2	1	1 土地売払収入	23,050,000	0	0	0	0
22	1	3	1 環境費寄附金	31,779,000	20,314,385	20,314,385	0	0
23	1	4	1 市民太陽光発電所 特別会計繰入金	2,000,000	906,169	906,169	0	0
	2	4	1 環境保全基金繰入金	545,999,000	543,706,124	543,706,124	0	0
25	1	1	3 環境費延滞金	10,000	178,000	50,900	0	127,100
	3	4	1 環境産業融資貸付金 元利収入	490,358,000	2,479,246	2,479,246	0	0
			2 つり銭準備貸付金収入	30,000	30,000	30,000	0	0
	4	3	1 環境費受託事業収入	36,761,000	17,605,149	17,605,149	0	0
	6	4	16 環境費雑入	4,193,792,000	3,958,204,057	3,958,204,057	0	0
			41 その他雑入	0	512,170	512,170	0	0
26	1	4	1 環境債	2,285,800,000	1,943,800,000	1,943,800,000	0	0
歳入合計				12,193,400,000	10,897,144,091	10,871,857,626	4,232,813	21,064,552

## 2 歳 出 決 算 額

(単位：円)

款 項 目	前年決算額	予算現額	決算額	翌年度への繰越額	不用額	前年度比較	執行率
5 款 環 境 費	13,656,953,317	17,052,640,000	15,994,067,738	10,000,000	1,048,572,262	2,337,114,421	93.85%
5 款 1 項 1 目 職 員 費	3,478,777,102	3,421,896,000	3,403,446,181	0	18,449,819	▲ 75,330,921	99.46%
5 款 2 項 環 境 費	10,178,176,215	13,630,744,000	12,590,621,557	10,000,000	1,030,122,443	2,412,445,342	92.44%
5 款 2 項 1 目 環 境 総 務 費	585,660,327	570,434,000	472,789,113	0	97,644,887	▲ 112,871,214	82.88%
5 款 2 項 2 目 環 境 保 全 費	457,759,413	1,140,041,000	445,137,399	10,000,000	684,903,601	▲ 12,622,014	39.39%
5 款 2 項 3 目 ご み 処 理 費	3,782,998,535	3,932,837,000	3,797,904,885	0	134,932,115	14,906,350	96.57%
5 款 2 項 4 目 し 尿 処 理 費	367,427,267	374,462,000	365,505,420	0	8,956,580	▲ 1,921,847	97.61%
5 款 2 項 5 目 工 場 費	4,146,435,665	4,519,675,000	4,425,514,604	0	94,160,396	279,078,939	97.92%
5 款 2 項 6 目 環 境 施 設 建 設 費	837,895,008	3,093,295,000	3,083,770,136	0	9,524,864	2,245,875,128	99.69%
歳 出 合 計	13,656,953,317	17,052,640,000	15,994,067,738	10,000,000	1,048,572,262	2,337,114,421	93.85%

### 1 市民環境力の更なる発展と市民協働による「北九州環境ブランド」の確立

#### ○環境ミュージアムにおける本市環境力の発信

【決算額：1,500千円 担当課：環境学習課 582-2784】

環境ミュージアムにおいて、いのちのたび博物館など3館が連携した企画展の実施に向けた広報及び造作物の製作、インバウンドに対応するため展示物解説の多言語化（QRコード設置）を行い、国内外へ本市環境力の発信を図った。

#### ○2020 ホラシスアジアミーティング開催事業

【決算額：14,167千円 担当課：環境国際戦略課 662-4020】

海外の企業経営者や投資家などが参加する国際会議「ホラシスアジアミーティング」の本市開催は令和4年度へと延期されたが、会議開催に向けた事前準備を行った。

またホラシス主催で令和2年度に開催されたウェブミーティングにおいて、参加者に向けて本市のPRや市内企業の技術等について情報発信を行った。

#### ○環境施策広報事業

【決算額：6,138千円 担当課：環境学習課 582-2784】

世界の環境首都を目指す取組みや環境未来都市、SDGs（持続可能な開発目標）の認知度向上などのため、環境マスコットキャラクター「ていたん」も活用した環境広報・PRを継続して行った。

#### ○ESD 活動支援事業

【決算額：19,428千円 担当課：環境学習課 582-2784】

持続可能な社会の構築を図るため、国連など世界規模で進められている「持続可能な開発のための教育（ESD）」を、北九州ESD協議会を中心に、市民、企業、大学等と連携しながら推進した。新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントや対面での会議の中止等で事業が実施できないことが多々あった。そのような中、オンラインでの会議や講演会を積極的に行うなど、新たな方法での事業を実施した。

#### ○北九州環境みらい学習システム「ドコエコ！」推進事業

【決算額：1,000千円 担当課：環境学習課 582-2784】

本市の恵まれた自然や充実した環境関連施設等を結びつけ、多世代の市民が意欲や能力に応じて、エコツアーなどまち全体で楽しく環境学習が行える仕組みづくりを行った。

### ○環境ミュージアム及び北九州エコハウス維持管理業務

【決算額：74,914千円 担当課：環境学習課 582-2784】

北九州市の環境の取組みの歴史を継承するとともに、本市の環境力をさらに高めるため、学習・情報発信・活動の3つの機能を備えた、環境学習拠点「環境ミュージアム」及び家庭での省エネ型のライフスタイルを提案する「北九州エコハウス」等の管理運営を行った。

### ○市民環境力支援事業

【決算額：12,447千円 担当課：環境学習課 582-2784】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「北九州エコライフステージ」をオンライン中心に一部対面で開催し、様々な団体・企業等が日頃行っている環境活動や環境に関する情報を全国に発信することができた。

また出展者同士や来場者とのつながりを生むような小規模イベントを行うなど、新たな「市民環境力」の向上に取り組んだ。

### ○環境人財育成事業

【決算額：12,458千円 担当課：環境学習課 582-2784】

本市の環境に関する取組みを理解し、市民のより良い環境・地域づくりへの意識を醸成するため、引き続き「環境首都検定」を実施した。市民のニーズにこたえ、受検区分【中高生編】を新設し、一般編・上級編においてはWeb受検を実施した。

### ○地域特性型（メニュー選択方式）市民環境活動推進事業

【決算額：9,339千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

市民の自主的な環境活動を促し、地域活動の活性化を図るため、地域団体自らが剪定枝や廃食用油を回収しリサイクルする取組み等を支援した。

### ○まち美化等啓発事業

【決算額：1,865千円 担当課：業務課 582-2180】

市民や企業、ボランティア団体等と一体となって「市民いっせいまち美化の日」等の啓発事業を実施することにより、環境美化に対する市民意識の向上を図り、清潔で美しいまちづくりを推進した。

## 2 2050年の脱炭素社会の実現に向けたエネルギー施策と国際協力の推進

### ○**新** 中小企業高度エネルギーマネジメント推進支援事業

【決算額：38,811千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

中小企業の省エネ実践行動をこれまで以上に推進させるため、最先端の省エネ設備及びエネルギーマネジメントシステムを導入する費用の一部を補助する事業を実施した。

### ○**新** 浮体式洋上風力発電の導入可能性検討事業

【決算額：16,956千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

「脱炭素社会の実現」に向けた浮体式洋上風力発電の導入可能性について、国の委託事業を活用し、自然条件や海域の利用状況など、設置する上で必要となる条件等の調査を実施した。

### ○**新** 北九州市地球温暖化対策実行計画改定事業

【決算額：5,998千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

現行の「地球温暖化対策実行計画」期間満了に伴い、CO<sub>2</sub>排出削減のさらなる推進や、気候変動に伴う災害の激甚化への対応の必要性が高まっていることを踏まえ、SDGs未来都市であり、産業都市としての本市の特性を生かした次期計画を策定するため、地球温暖化対策に係る情報の収集・整理及び温室効果ガス排出量の将来推計と削減目標の検討を行った。

### ○北九州水素タウン実証・PR拠点化推進事業

【決算額：9,800千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

水素社会の実現に向けて、東田地区の「水素タウン」のパイプラインを活用し、水素関連の各種実証事業を実施し、水素タウンの取組みをPRした。

### ○地球温暖化対策推進事業

【決算額：3,807千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」と連携して、「省エネ家電の買替え」や「宅配便の再配達防止」など脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた市民啓発を実施した。

### ○エコドライブ・ノーマイカー普及推進事業

【決算額：712千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

自動車から排出されるCO<sub>2</sub>削減のため、企業内でのエコドライブ活動を支援するとともに、市民へのエコドライブの普及啓発を図った。

また、関係部局と連携して、「ノーマイカーデー（毎週水曜日・金曜日）の定着」や「公共交通機関利用の促進」に向けた周知啓発を実施した。

#### ○燃料電池自動車導入助成事業

【決算額：293千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

燃料電池自動車（FCV）を市内に普及させるため、FCV及び可搬型外部給電器を導入する事業者に対して一部助成を行った。

#### ○再生可能エネルギー導入促進事業

【決算額：2,323千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

再生可能エネルギーの導入促進を図り、CO<sub>2</sub>削減、地域経済の成長に資するため、風力発電関連産業の人材育成の実施や、市内の木質バイオマスを活用した熱供給事業への支援を行うほか、市民の理解促進のためのパンフレット製作等を行った。

#### ○北九州市役所環境・エネルギープロジェクト推進事業

【決算額：7,951千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

環境モデル都市としての市役所の率先垂範を実践するため、また、省エネ法及び温対法の規制へ対応するため、省エネ・節電を推進した。

#### ○アジア低炭素化センター推進事業

【決算額：11,111千円 担当課：環境国際戦略課 662-4020】

アジア低炭素化センターの事業を推進し、環境に関する多様な技術や社会システム等を海外に輸出することで、地域経済の活性化を図った。

#### ○中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業

【決算額：912千円 担当課：環境国際戦略課 662-4020】

市内中小企業の海外への技術輸出を促進するため、廃棄物処理やリサイクル等に関する企業の技術・製品に関する海外での事業可能性調査及び実証試験を行うための費用の一部を助成した。

### 3 循環型社会づくりの推進

#### ○①知る・わかる・ひろがる自然共生促進事業

【決算額：982千円 担当課：環境監視課 582-2290】

自然環境保全推進のため、自ら「知り・理解し・行動する」人材の育成を目指し、次代を担う子ども達や一般市民を対象とした教材の作成、小学校での出張授業や体感講座を実施した。

#### ○②第2期「北九州市循環型社会形成推進基本計画」策定事業

【決算額：5,751千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

第2期「北九州市循環型社会形成推進基本計画」の策定に向け、現計画の総括や、課題の抽出、ごみ量の将来推計、組成調査などを行った。

### ○北九州市プラスチックスマート推進事業

【決算額：42,124千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

世界的な課題であるプラスチックごみ問題の解消を図るため、家庭用指定ごみ袋のバイオマスプラスチック化、市民啓発やリユース・リサイクルの促進のほか、東南アジアにおける国際貢献の取組みなど、先進的な対策を推進した。

### ○環境未来技術開発助成事業

【決算額：47,189千円 担当課：環境イノベーション支援課 582-2630】

循環型社会及び脱炭素社会の実現に向け、環境分野の課題解決に先導的な役割を果たすことを目的とし、本市への環境技術の集積や環境産業の技術力の強化を図るため、先進的かつ実現性の高い環境技術に関する研究開発を13件採択し、支援を行った。

### ○北九州エコタウン事業

【決算額：7,994千円 担当課：環境イノベーション支援課 582-2630】

北九州エコタウンにおける環境技術開発の推進と環境産業の集積を図り、循環型社会の実現に向けて、企業支援や関係機関との協議のほか、貸付用地の維持管理を行った。

### ○響灘ビオトープ運営等事業

【決算額：42,372千円 担当課：環境監視課 582-2290】

本市の豊かな自然環境の保全につなげるため、市民が見て触れて自然生態系の仕組みや生物多様性の重要性などが学習できる「響灘ビオトープ」の管理運営を行った。

### ○生物多様性戦略推進事業

【決算額：25,297千円 担当課：環境監視課 582-2290】

本市の豊かな自然環境と生物多様性を保つため、自然環境に関する市民啓発や、環境保全に取り組む団体への支援を行ったほか、市民参加型の自然観察会や植樹などを実施した。

### ○自然環境の保全と利活用促進事業

【決算額：5,600千円 担当課：環境監視課 582-2290】

本市の自然環境の魅力を広く市民に発信し、利活用につながる保全活動を推進するため、市内の自然環境を調査するとともに、地域や関係団体と連携してツアー型学習会などを実施した。

### ○産業廃棄物処理高度化推進事業

【決算額：4,465千円 担当課：産業廃棄物対策課 582-2177】

産業廃棄物処理業の活性化を図るための基盤整備として、産業廃棄物処理業の人材確保・育成支援を推進した。



### ○不法投棄防止事業

【決算額：14,671千円 担当課：産業廃棄物対策課 582-2177】

監視パトロール、監視カメラの整備、市民通報員の活用により、不法投棄の早期発見・早期撤去に努めた。また悪質事案に対しては警察と連携して実行者を厳しく指導した。

### ○産業廃棄物処理推進事業

【決算額：7,297千円 担当課：産業廃棄物対策課 582-2177】

廃棄物処理法に基づき、産業廃棄物処理に関する許可審査・届出受付を行うとともに、排出事業者・処理業者に対する立入検査を通じて法令遵守の徹底を図った。

また、優れた排出事業者・処理業者への認定や、排出・処理動向の分析・公表により、市内の産業廃棄物の適正処理・3Rを推進した。

### ○食品ロス対策・食品廃棄物リサイクル促進事業

【決算額：8,742千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

食品ロス削減対策「残しま宣言」運動の更なる普及・啓発を図るため、「食品ロスダイアリー」により、各家庭での実態把握を通して意識改革を推進するとともに、事業系食品廃棄物のリサイクル促進に向けた仕組みづくりを実施した。

### ○3R活動推進事業

【決算額：434千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

事業所に対する一般廃棄物の減量化等の推進や3R活動を行う団体の表彰等により、3R活動の推進を図った。

### ○古紙・古着リサイクル推進事業

【決算額：159,110千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

一般廃棄物の減量化・資源化促進のため、回収量に応じた奨励金の支給や、資源回収用保管庫の貸与などを通じ、町内会等の市民団体による古紙・古着の集団資源回収活動を支援した。

### ○日明地区廃棄物処理施設整備事業

【決算額：2,373,320千円 担当課：施設課 582-2184】

ごみの安定処理及び災害対応力の強化を図るため、老朽化した日明地区の廃棄物処理施設の再整備として、日明かんばん資源化センターを完成させ、新日明工場整備運営事業の契約を締結した。

## 4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境産業の推進

### ○EV、FCVなどの次世代自動車を活用した災害対応力強化事業

【決算額：4,389千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

次世代自動車を活用した災害時の避難所等への電力供給の仕組みを構築するため、EV・FCVからの電力を避難場所等に供給する際に必要な「外部給電器」を各区役所へ導入した。

### ○新規環境産業創出事業（北九州エコプレミアム産業創造事業）

【決算額：2,685千円 担当課：環境イノベーション支援課 582-2630】

市内で生産されている環境配慮型製品や環境負荷低減に寄与するサービスを「北九州エコプレミアム」として新たに7件選定し、オンラインでの展示会において選定企業を紹介するなど、販売促進の支援を行った。

### ○日中大気汚染・省エネ対策共同事業

【決算額：143千円 担当課：環境国際戦略課 662-4020】

平成26年度から中国諸都市と都市間連携協力事業を実施し、PM2.5をはじめとする大気環境改善に貢献してきた。令和元年度から地球温暖化対策も追加し、中国における温室効果ガス削減に資する市内企業のビジネス支援を主体とした事業を行った。

### ○大気汚染常時監視システム整備保守事業

【決算額：16,978千円 担当課：環境監視課 582-2290】

大気汚染防止法第22条の規定に基づく大気汚染状況の常時監視を行うため、公害監視センターと市内18カ所に設置した常時監視測定局からなる測定網の整備・保守を行った。常時監視結果を本市の環境保全の推進に役立てるとともに、大気環境の現状把握に努めた。

### ○環境対策事業

【決算額：30,534千円 担当課：環境監視課 582-2290】

環境法令に基づき、大気汚染や水質汚濁、騒音・振動の監視測定（環境モニタリング）などを行い、環境質の現状を把握し、維持・向上に努めた。

また、市内企業を対象に、環境保全を一層促進するため、環境モニタリングの結果や環境法令の概要、また不適正事案の防止策等に関するセミナーを実施した。

### ○工場・事業場監視事業

【決算額：28,940千円 担当課：環境監視課 582-2290】

市内の工場・事業場に対し、大気汚染防止法・水質汚濁防止法等に基づいて、立入検査及び排ガス・排水中の規制項目に関する測定を実施し、事業者の環境法令の遵守状況を監視するとともに、環境管理の取組みの促進を図った。

また、市民からの公害関係苦情・要望を受け、発生源に対する指導を行った。